

平成 19 年 10 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社タカラトミー
代 表 者 名 代表取締役社長 富山幹太郎
(コード番号 7867 東証第 1 部)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 田島 省二
T E L 03-5654-1280

平成 20 年 3 月期中間期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ
並びに特別利益・特別損失の発生に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期中間期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、下記のとおり特別利益・特別損失が発生する見込みですので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間期連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	80,000	1,400	800	500
今回修正予想 (B)	87,000	1,900	1,900	1,500
増減額 (B - A)	7,000	500	1,100	1,000
増減率 (%)	8.8%	35.7%	137.5%	200.0%
(ご参考)				
前中間期実績(平成 19 年 3 月期)	82,478	1,528	1,808	701

2. 平成 20 年 3 月期中間期個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,000	500	500	400
今回修正予想 (B)	34,900	1,350	1,700	1,400
増減額 (B - A)	3,900	850	1,200	1,000
増減率 (%)	12.6%	170.0%	240.0%	250.0%
(ご参考)				
前中間期実績(平成 19 年 3 月期)	31,613	337	654	395

3. 修正の理由

(1) 連結業績について

当中間期の連結業績につきましては、下記のとおり個別業績が当初予想を上回る見込みであるほか、任天堂商品を扱う Toys Union (株) の業績伸長、プリスクール商品を中心とした堅調な欧州販売等により、売上高は当初予想を 7,000 百万円上回る 87,000 百万円となり、営業利益は、カプセル玩具事業の利益率悪化等をカバーし、当初予想比 500 百万増の 1,900 百万円となる見込みです。

経常利益は、持分法投資損失 180 百万円を計上するものの、個別業績での収益力アップ等により、当初予想を 1,100 百万円上回る 1,900 百万円となり、当中間期純利益は、後述の特別利益・特別損失を含め、当初予想を 1,000 百万円上回る 1,500 百万円となる見込みです。

(2) 個別業績予想について

当中間期の個別業績につきましては、トミカ、プラレール、リカちゃんなど定番商品が堅調に推移するとともに、次世代キッズアミューズメント筐体「ポケモンバトリオ」を始めとする「ポケットモンスター」関連商品や当社のオリジナルコンテンツが映画化された「トランスフォーマー」関連商品の売上げ拡大、貯めたくなる貯金箱「人生銀行」、低価格赤外線コントロールカー「カウル」など大人や親子をターゲットとした商品が人気を呼ぶなどにより、売上高は当初予想を 3,900 百万円上回る 34,900 百万円となる見込みです。

営業利益は、売上拡大による売上総利益の増加、販売費・一般管理費の圧縮等により、当初予想を 850 百万円上回る 1,350 百万円となり、経常利益も営業外損益の好転により、当初予想を 1,200 百万円上回る 1,700 百万円となる見込みです。当中間期純利益については、後述の特別利益・特別損失を含め、当初予想を 1,000 百万円上回る 1,400 百万円となる見込みです。

4. 特別利益・特別損失の発生及びその見込み額

(1) 連結

下記のとおり、当中間期において遊休不動産の売却等により、特別利益 600 百万円、特別損失 280 百万円を計上する見込みです。

《特別利益》		《特別損失》	
・固定資産売却益	340 百万円	・固定資産除売却損	90 百万円
・投資有価証券売却益	160 百万円	・貸倒引当金繰入	80 百万円
・その他特別利益	100 百万円	・その他特別損失	110 百万円
合計	600 百万円	合計	280 百万円

(2) 個別

下記のとおり、当中間期において遊休不動産の売却、関係会社株式等の減損処理等により、特別利益 450 百万円、特別損失 740 百万円を計上する見込みです。

《特別利益》		《特別損失》	
・固定資産売却益	300 百万円	・関係会社株式評価損・	
・投資有価証券売却益	120 百万円	売却損	430 百万円
・その他特別利益	30 百万円	・貸倒引当金繰入	170 百万円
		・固定資産除売却損	70 百万円
		・その他特別損失	70 百万円
合計	450 百万円	合計	740 百万円

5. 通期業績見通しについて（連結・個別）

通期業績予想につきましては、引き続き重点商品の投入、魅力ある売場提案等を含め、積極的な事業展開を行ってまいります。最大商戦期である年末・年始期の動向等不確定要因があることから、連結・個別とも平成 19 年 5 月 15 日に発表した当初予想を変更しておりません。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上